

4 前半3年間の評価（中間報告）

第2次千葉市学校教育推進計画及び第5次千葉市生涯学習推進計画は、平成28年度から6年間の計画であり、平成30年度が中間年度であるため、前半3年間の確認・評価を行います。

（1）学校教育分野

ア 成果指標の達成状況

（ア）達成状況の割合

施策展開の方向性		成果指標数	達成状況			
			◎	○	×	—
1	確かな学力を育てる	8 (100%)	0	0	3 (37.5%)	5 (62.5%)
2	豊かな人間性を育てる	14 (100%)	0	0	3 (21.4%)	11 (78.6%)
3	健やかな体を育てる	11 (100%)	3 (27.3%)	1 (9.1%)	7 (63.6%)	0
4	子どもの学びを支える環境を整える	3 (100%)	0	0	1 (33.3%)	2 (66.7%)
5	信頼される教職員が子どもと向き合う環境を整える	4 (100%)	0	0	0	4 (100%)
6	多様な教育的支援の充実を図る	12 (100%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	4 (33.3%)	5 (41.7%)
7	地域社会全体で子どもの成長を支える	2 (100%)	0	0	0	2 (100%)
合計		54 (100%)	4 (7.4%)	3 (5.6%)	18 (33.3%)	29 (53.7%)

※（ ）内の数値は「施策展開の方向性」ごとの達成状況の割合を示しています。なお、小数第二位で四捨五入しているため、合計が100%とならないことがあります。

(イ) 最終目標を達成した主な成果指標（達成状況が◎のもの）

【保健体育課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		最終目標	H30 末実績
3	健やかな体を育てる	3-2	体力の向上	13	体力・運動能力調査において、各学年・男女別・種目で全国平均を上回る割合	中男子 75.0% 中女子 87.5%	中男子 87.5% 中女子 100%
分析・考察		全中学校において、年度当初に前年度の課題等を踏まえ、体力づくりの取組目標や努力点、運動能力証合格率の目標を設定し、生徒の体力向上に向けた取組みを行ってきた成果が表れています。引き続き、生徒の実態に応じた取組みを進めていきます。					

【教育指導課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		最終目標	H30 末実績
6	多様な教育的支援の充実を図る	6-3	学習や社会生活が困難な子どもへの支援	26	日本語指導が必要な帰国・外国人生徒で指導を受けている割合（中学校）	95.0%	98.5%
分析・考察		当初の計画を早め、平成 29 年度に行われたモデル授業をもとに、平成 30 年度に全ての小中学校の体育・保健体育の授業において、パラスポーツを実践することができました。より充実した授業ができるように、実践重点校やモデル校での授業を教員が参観したほか、教員を対象とした実技研修も実施しました。東京 2020 オリンピック・パラリンピック終了後も引き続き実施します。この取組みにより、子どもたちは一層スポーツを好きになり、生涯にわたって運動に親しむ資質が向上するとともに、スポーツの多様性についての理解を深めていきます。					

(ウ) 中間目標が未達成である主な成果指標（達成状況が×のもの）

【教育指導課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		中間目標	H30 末実績
1	確かな学力 を育てる	1-1	主体的に学ぶ 力の向上	2	全国学力・学習状況調 査における全国平均 正答率との比較	①小6 +2.0 ②中3 +2.0	①小6 ±0 ②中3 ±0
分析・考察		児童生徒の確かな学力の定着を図るため、各学校において学力の傾向や課題を 分析し、その改善に向けた学力向上アクションプランを作成し、検証と修正を 加えながら実践に取り組みます。また、家庭学習の大切さや望ましい生活習慣 の在り方を広く保護者に発信します。					

【学事課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		中間目標	H30 末実績
4	子どもの学 びを支える 環境を整え る	4-1	安全・安心な 教育環境の確 保	16	学校セーフティウォ ッチャーの登録者数	30,000 人	26,265 人
分析・考察		保護者会や地域の団体に参加を呼び掛けていますが、児童生徒数の減少や地域 の方の高齢化により、登録者が減少する学校が増えています。登録者の拡充に 向け、地域や保護者会等への働きかけを強化するとともに、地域との連携を深 め、地域全体で見守る意識を高めていきます。					

【教育支援課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		中間目標	H30 末実績
6	多様な教育 的支援の充 実を図る	6-2	いじめや不登 校の未然防止 と早期発見・ 解消	23	全児童生徒数に対す る不登校児童生徒の 割合	①小 0.40% ②中 2.25%	①小 0.57% ②中 3.05%
分析・考察		不登校が解消する児童生徒は一定数いるものの、「友人との関係の悪化」、「生 活リズムの乱れ」、「勉強がわからない」など、不登校となる要因が多様化・ 複雑化していることにより、不登校児童生徒の割合は年々増加傾向にありま す。今後は、未然防止や早期対応についての指導を促進し、外部機関と連携し た支援体制の整備を行っていきます。					

イ アクションプランの進捗状況

(ア) 進捗状況の割合

施策展開の方向性		事業数	進捗状況				
			達成	順調	遅れ	休止	中止
1	確かな学力を育てる	15 (100%)	0	12 (80.0%)	3 (20.0%)	0	0
2	豊かな人間性を育てる	16 (100%)	0	16 (100%)	0	0	0
3	健やかな体を育てる	11 (100%)	1 (9.1%)	8 (72.7%)	2 (18.2%)	0	0
4	子どもの学びを支える環境を整える	15 (100%)	0	9 (60.0%)	6 (40.0%)	0	0
5	信頼される教職員が子どもと向き合う環境を整える	13 (100%)	0	12 (92.3%)	1 (7.7%)	0	0
6	多様な教育的支援の充実を図る	17 (100%)	0	16 (94.1%)	1 (5.9%)	0	0
7	地域社会全体で子どもの成長を支える	6 (100%)	0	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0	0
合計		93 (100%)	1 (1.1%)	76 (81.7%)	16 (17.2%)	0 (0%)	0 (0%)

※ () 内の数値は「施策展開の方向性」ごとの進捗状況の割合を示しています。なお、小数第二位で四捨五入しているため、合計が 100% とならないことがあります。

(イ) 最終目標を達成した事業（達成状況が「達成」のもの）

【保健体育課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	最終目標	H30 末実績
3	健やかな体を育てる	3-2	体力の向上	1	運動習慣を身に付けるための取組み	運動習慣定着に向けた取組み	全校実施	全校実施
分析・考察		当初の計画を早め、平成 29 年度に行われたモデル授業をもとに、平成 30 年度に全ての小中学校の体育・保健体育の授業において、パラスポーツを実践することができました。より充実した授業ができるように、実践重点校やモデル校での授業を教員が参観したほか、教員を対象とした実技研修も実施しました。東京 2020 オリンピック・パラリンピック終了後も引き続き実施します。この取組みにより、子どもたちは一層スポーツを好きになり、生涯にわたって運動に親しむ資質が向上するとともに、スポーツの多様性についての理解を深めていきます。						

(ウ) 中間目標が未達成の主な事業（達成状況が遅れのもの）

【保健体育課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
3	健やかな体を育てる	3-2	体力の向上	2	アスリート交流事業	千葉ロッテマリーンズベースボールチャレンジ	年間：23 校	年間：20 校
						ジェフユナイテッド市原・千葉おとどけ隊	年間：94 校	年間：92 校
分析・考察		「千葉ロッテマリーンズベースボールチャレンジ」及び「ジェフユナイテッド市原・千葉おとどけ隊」については、マリーンズやジェフとの日程調整が順調に進まず、中間目標を達成することができませんでした。それぞれとの連絡・調整をより一層密に行い、実施校を拡大していきます。						

【教育センター】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
5	信頼される教職員が子どもと向き合う環境を整える	5-2	「チーム学校」の実現	3	情報教育機器の充実（校務用）	校務用 P C の整備	整備率 96.4%	整備率 84.7%
分析・考察		整備率は向上しておらず、中間目標は達成できませんでしたが、H30 年度中に校務用 PC の調達・契約を行いました。令和元年度に仮稼働、令和 2 年度に正式稼働となる予定です。						

【教育支援課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
7	地域社会全体で子どもの成長を支える	7-1	地域とともにある学校づくりの推進	4	ネット社会における諸問題への対応	予防と対策の検討・実践	協議会設置ガイドライン策定	継続
分析・考察		他自治体の情報を注視し、協議会開催の内容を精査していたため、進捗が遅れが出ています。「ネット社会における諸問題への対応に関する協議会（仮称）」の令和 2 年度の開催を目指し、今年度は関係機関と調整を図り、設置の準備を行います。						

ウ 考察

(ア) 達成状況が「－」である成果指標が 53.7%と大部分を占めています。これは、中間見直しにおいて、「主観指標」に区分した成果指標は達成率で評価しないこととしたこと、及び現状値が把握できなくなったため、指標の項目を変更したことによるものです（P 6 参照）。

(イ) 中間目標に達していない成果指標（達成状況が×のもの）は 33.3%（「－」を除くと 72.0%）であり、順調とは言えません。一方で、アクションプランにおいて、進捗状況が「達成」または「順調」である事業は 82.8%であり、おおむね順調に進捗していることから、実施している取組みが成果として表れていないことがわかります。最終目標の達成に向け、漫然とアクションプラン等の取組みを進めるのではなく、取組みの効果を検証しつつ取組内容を見直し、より効果の高いものに改善する必要があると考えます。

(ウ) 休止・中止となったアクションプランはありませんでした。

(2) 生涯学習分野

ア 成果指標の達成状況

(ア) 達成状況の割合

施策展開の方向性		成果指標数	達成状況		
			◎	○	×
1	学習活動のきっかけの提供	4	—	—	4 (100%)
2	多様な学習機会の確保	3	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
3	学びを生かしたコミュニティづくり	3	1 (33.3%)	—	2 (66.6%)
合計		10	2 (20%)	1 (10%)	7 (70%)

※（ ）内の数値は「施策展開の方向性」ごとの達成状況の割合を示しています。なお、小数第二位で四捨五入しているため、合計が 100%とならないことがあります。

(イ) 最終目標を達成した成果指標（達成状況が◎のもの）

【文化財課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		最終目標	H30 末実績
2	多様な学習 機会の確保	1	郷土への愛着 を深める学習 機会の提供	5	郷土の歴史や文化財 に愛着を感じる市民 の割合	59.0%	61.3%
分析・考察		特別史跡加曽利貝塚や千葉氏などに関するPRイベント及び普及活動を積極 的行ったこと、また「縄文ブーム」などの社会的関心の高まりにより、「郷 土の歴史や文化財に愛着を感じる市民の割合」が増加傾向にあると分析しま す。					

【生涯学習振興課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		最終目標	H30 末実績
3	学びを生か したコミュニ ティづくり	3	市民の参加・ 協働による学 習活動の推進	10	住民同士で地域課題 の解決に取り組んで いると考える市民の 割合	30.0%	31.8%
分析・考察		多様な主体による学習活動の推進、公民館を拠点とした地域連携の推進など、 各アクションプランにおける取組が順調であることから、住民同士で地域課題 の解決に取り組んでいると考える市民の割合が上昇していると分析します。今 後も各事業の推進を図ります。					

(ウ) 中間目標を達成しなかった成果指標（達成状況が×のもの）

【生涯学習振興課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		中間目標	H30 末実績
1	学習活動の きっかけの 提供	1	生涯学習の普 及啓発	1	生涯学習に関心のあ る市民の割合	83.0%	76.3%
分析・考察		講座情報の発信や「まなびフェスタ」、「千葉市科学フェスタ」といった生涯 学習イベントを開催することで、市民が学びの楽しさ、大切さに興味・関心を 持ってもらえるよう事業に取り組んでいます、生涯学習に関心のある市民の 割合は計画当初から上昇していません。 今後も引き続き、各種事業に努めるとともに、生涯学習に関する情報の提供に 取り組みます。					

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		成果指標		中間目標	H30 末実績
1	学習活動のきっかけの提供	1	生涯学習の普及啓発	2	生涯学習に関する情報が充実していると感じる市民の割合	25.0%	24.5%
分析・考察		生涯学習センター及び一部公民館では SNS を活用し、全公民館では公民館だよりを発行するなど、情報発信に積極的に取り組んだ結果、生涯学習に関する情報が充実していると感じる市民の割合は平成 28 年度より年々上昇しています。中間目標には達しませんでした、今後も充実した情報の提供に努めます。					

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		成果指標		中間目標	H30 末実績
1	学習活動のきっかけの提供	2	学習環境の整備	3	市の生涯学習施設が 5 年前よりも利用しやすくなったと考える市民の割合	54.0%	53.3%
分析・考察		公民館や生涯学習センターの修繕・改修など、学習環境の整備に取り組んだ結果、市の生涯学習施設が利用しやすくなったと考える市民の割合は増加しています。中間目標には達しませんでした、今後も快適で参加しやすい学習環境の確保、利用サービスの向上に努めます。					

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		成果指標		中間目標	H30 末実績
1	学習活動のきっかけの提供	2	学習環境の整備	4	生涯学習施設を年 1 回以上利用したことのある市民の割合	74.0%	68.0%
分析・考察		生涯学習施設に関する情報発信に取り組んだものの、生涯学習施設を年 1 回以上利用したことのある市民の割合は伸び悩んでいます。今後はより一層の施設の情報発信に努めます。					

【生涯学習振興課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		中間目標	H30 末実績
2	多様な学習 機会の確保	2	市民ニーズに 対応した学習 機会の提供	6	公民館の講座の参加 者の満足度	99.0%	98.4%
分析・考察		公民館では、市民の学習ニーズに対応するため、幅広い分野にわたる学習機会の提供を行っています。前年度より 185 回増の 972 講座を実施したにもかかわらず、98.4%と非常に高い満足度となりました。引き続き、利用者のニーズを的確に把握したうえで質の高い講座を展開し、さらなる満足度の上昇を目指します。					

【生涯学習振興課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		中間目標	H30 末実績
3	学びを生か したコミュニ ティづくり	1	地域の担い手 となる人材育 成	8	市民のボランティア 活動・地域活動への 参加状況	23.0%	16.7%
分析・考察		生涯学習センターや公民館でボランティアやリーダーの育成講座を実施していますが、市民のボランティア活動・地域活動への参加状況は伸び悩んでいます。今後は、講座の充実、広報 PR に努めるとともに、学習成果を地域に還元するしくみづくりに取り組みます。					

【生涯学習振興課】

施策展開 の方向性		施策		成果指標		中間目標	H30 末実績
3	学びを生か したコミュニ ティづくり	2	学習成果の活 用機会の提供	9	年 2 回以上学習成果 を地域に還元する団 体の割合	68.0%	67.6%
分析・考察		学習成果の発表機会の提供、青少年交流事業の実施など、関連するアクションプランを継続的に取り組んだ結果、学習成果を地域に還元する団体の割合は増加しています。中間目標には達しませんでした。今後も学習の成果を発表する機会を提供するとともに、その成果を地域に還元することの必要性の周知に取り組みます。					

イ アクションプランの進捗状況

(ア) 進捗状況の割合

施策展開の方向性		事業数	進捗状況				
			達成	順調	遅れ	休止	中止
1	学習活動のきっかけの提供	18	4 (22.2%)	10 (55.6%)	3 (16.7%)	1 (5.5%)	—
2	多様な学習機会の確保	21	6 (28.6%)	8 (38.1%)	6 (28.6%)	1 (4.8%)	—
3	学びを生かしたコミュニティづくり	17	1 (5.9%)	12 (70.6%)	4 (23.5%)	—	—
合計		56	11 (19.6%)	30 (53.6%)	13 (23.2%)	2 (3.6%)	—

※ () 内の数値は「施策展開の方向性」ごとの達成状況の割合を示しています。なお、小数第二位で四捨五入しているため、合計が 100% とならないことがあります。

(イ) 最終目標を達成した事業（進捗状況が「達成」のもの）

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	最終目標	H30 末実績
1	学習活動のきっかけの提供	2	学習環境の整備	1	生涯学習施設等の利用環境の充実	生涯学習センターの施設稼働率	55.0%	64.7%
分析・考察		生涯学習センターの稼働率は、毎年度上昇しており、最終目標を達成しています。今後も利用者の意見を参考に、利用環境を整えます。						

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	最終目標	H30 末実績
1	学習活動のきっかけの提供	2	学習環境の整備	4	公民館の改装	横橋公民館の改装	供用	H29 年 10 月 供用開始
分析・考察		横橋公民館の改装については、改装事業を賃貸借契約により実施したことにより、基本設計を除く、実施設計・工事を一貫して行うことで、改装に係る公民館の休止期間を短縮することが可能となりました。						

【生涯学習振興課】

施策展開 の方向性		施策		事業名		取組項目	最終目標	H30 末実績
1	学習活動 のきっかけの提供	2	学習環境の 整備	6	中央図書館・生涯学 習センター 等の改修	中央図書館・生涯学習センター の改修	アトリウム ガーデン屋根 防水工事 完了	工事完了
							吊天井落下 防止対策工 事完了	工事完了
分析・考察		中央図書館・生涯学習センターのアトリウムガーデン屋根防水、吊天井落下防止 対策工事は平成 30 年 3 月に完了しました。なお、中央図書館・生涯学習センター は中長期計画に基づく改修期を迎え、大規模な保全改修工事が予定されています。						

【文化財課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	最終目標	H30 末実績
2	多様な学習機会の確保	1	郷土への愛着を深める学習機会の提供	1	加曽利貝塚の特別史跡指定	総括報告書の刊行	総括報告書の刊行	総括報告書の刊行
分析・考察		総括報告書の作成と並行し、加曽利貝塚の PR 活動を積極的に行うなど特別史跡指定に向けた取り組みを多角的に推進したことで、当初の目標よりも早く、平成 29 年 10 月に指定を達成しました。平成 30 年度には過去最多の来訪者を更新しましたが、引き続き発掘調査や史跡整備を進めるとともに、今後も縄文文化に親しめる様々な取り組みを提供します。						

【文化財課】

施策展開 の方向性		施策		事業名		取組項目	最終目標	H30 末実績
2	多様な学 習機会の 確保	1	郷土への愛 着を深める 学習機会の 提供	3	郷土の理解 を深める講 座・事業の 充実	加曽利貝塚など 縄文時代の理解 を深める講座・ 事業	13 事業	34 事業
						千葉氏など郷土 の歴史の理解を 深める講座・事 業	26 事業	28 事業
分析・考察		加曽利貝塚博物館、郷土博物館ともに企画展や講座の充実を図った結果、最終目標の講座・事業数を達成しています。今後も情報発信に力を入れるなど、事業の充実を図ります。						

【中央図書館】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	最終目標	H30 末実績
2	多様な学習機会の確保	2	市民ニーズに対応した学習機会の提供	4	「（仮称）瑞穂情報図書センター」の整備	「（仮称）瑞穂情報図書センター」の整備	供用	供用
分析・考察		平成 29 年 3 月より「みずほハスの花図書館」の供用を開始しました。 平成 30 年度には、みずほハスの花図書館の整備目標の達成状況やモデル的な取組の効果について、平成 29 年度実績値やアンケートの結果等をもとに効果検証を実施しました。 ※結果の概要 1 民間機能を活用した柔軟かつ利便性に富んだ運営の確保 市（選書等の専門的業務）と民間事業者（窓口業務）が役割分担し、民間の創意工夫により運営経費の増額を伴わずに利便性の向上が実現できたことから、今後の図書館運営の有効な選択肢の一つであると評価。 2 ICTを活用した窓口業務の省力化 自動貸出機を設置し、貸出サービスを自動（セルフ）化したことにより、窓口業務の省力化のほか、利便性の向上やプライバシーの確保が実現。 3 好調な利用状況 他館を 10 万人上回る来館者数 184,585 人（他分館平均 87,671 人） 4 高い利用者満足度 満足 91.8%						

【中央図書館】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	最終目標	H30 末実績
2	多様な学習機会の確保	2	市民ニーズに対応した学習機会の提供	9	子ども読書活動の推進	1 か月間に読んだ本が 0 冊の児童生徒の割合（小学生）	0.8%	0.3%
						1 か月間に読んだ本が 0 冊の児童生徒の割合（中学生）	5.5%	1.3%
分析・考察		学校と連携して事業を実施した結果、1 か月間に読んだ本が 0 冊の児童生徒の割合は毎年度減少しており、小、中学生ともに最終目標を達成しています。						

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	最終目標	H30 末実績
3	学びを生かしたコミュニティづくり	3	市民の参加・協働による学習活動の推進	1	多様な主体による学習活動の推進	公民館、生涯学習センターにおいて多様な主体と連携して実施した事業数	120 事業	131 事業
分析・考察		NPO 法人や大学、民間事業者、地域団体と連携した結果、平成 30 年度末実績値において、最終目標を達成しました。						

(ウ) 中間目標が未達成の主な事業（進捗状況が遅れのもの）

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
1	学習活動のきっかけの提供	2	学習環境の整備	1	生涯学習施設等の利用環境の充実	公民館の施設稼働率（＊調理室を除く）	48.0%	45.8%
分析・考察		施設の修繕や備品の更新など積極的に学習環境の整備を行いました。稼働率が伸び悩んでいる主な原因として、利用者の高齢化による活動団体の減少が原因の一つであると考えられます。引き続き、利用環境の充実を図るとともに、利用団体の支援や広報に取り組みます。						

【中央図書館】

施策展開 の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
1	学習活動 のきっかけの提供	2	学習環境の 整備	2	図書館サー ビスの向上	地区図書館の開 館時間の拡大	1 館	—
						分館における休 日開館の実施	3 館	—
分析・考察		平成 28 年度から、みずほハスの花図書館において、他図書館が休館日である月曜日の開館を実施しています。また、平成 30 年度は市民意識調査において、開館日・開館時間に関するニーズを調査し、一部地区図書館での学校振替休業日における臨時開放を実施しました。						
		今後は、現在策定中の新たな図書館計画の中で、この成果等を踏まえ、開館時間の延長や祝日開館の必要性、それを実現するための方策について検討します。また、みずほハスの花図書館での祝日開館を検討するとともに、引き続き一部地区図書館での学校振替休業日における臨時開放を実施します。						

【文化財課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
2	多様な学習機会の確保	1	郷土への愛着を深める学習機会の提供	2	文化財の保存・活用の推進	ゆかりの家・いなげの改修	外壁等腐食箇所修繕、電気設備工事	—
分析・考察		ゆかりの家・いなげは、外壁等腐食箇所及び電気設備の劣化状況を注視しつつ、小破修繕により対応しています。						

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
2	多様な学習機会の確保	2	市民ニーズに対応した学習機会の提供	6	未来の科学者育成プログラムの充実	未来の科学者育成プログラムの実施	拡充	71 人
分析・考察		ジュニア講座に関しては、平成 29 年度は広報の仕方に課題があり、応募人数が伸び悩みました。平成 30 年度は応募人数では達成していましたが、当日の天候（台風）により参加人数が目標値を下回りました。今後も全ての講座で市内公立小学校 5、6 年生全員に個別にチラシを配付し、電子申請に対応することを継続します。また、新規講座を立ち上げ、さらに幅広いニーズに対応できるようにします。						

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
2	多様な学習機会の確保	2	市民ニーズに対応した学習機会の提供	8	放課後子ども教室の推進	実施日数	従来型 19.3 日/校 活動支援型 25.0 日/校	従来型 17.9 日/校 活動支援型 25.9 日/校
分析・考察		平成 28 年度から総合コーディネーターによる活動支援を実施し、対象校の実施日数は増加しましたが、それに伴い地域の負担も増大することが課題となっています。今後は、企業等による質の高い継続プログラムの実施や、子どもルームとの一体型事業の拡充により、希望するすべての児童に学びのきっかけを提供できるよう努めます。						

【中央図書館】

施策展開 の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
2	多様な学 習機会の 確保	2	市民ニーズ に対応した 学習機会の 提供	9	子ども読書 活動の推進	読書週間のある 児童生徒の割合 (小学5年生)	49.0%	44.0%
						読書週間のある 児童生徒の割合 (中学2年生)	49.0%	43.0%
分析・考察		読書習慣のある児童生徒の割合は、学年が上がるにつれて減少しています。また、昨年度と比較するとどの学年でも低下しています。学年別平均読書量でも同様の傾向が見られますが、これは、情報機器の利用増加が要因の一つであると考えられます。今後は「まほうの読書ノート」から「どくしょてちょう」へデザインの仕様を変更するなど、子どもの読書活動の推進を図ります。また、職場体験の受入や団体貸出、図書館指導員の研修会への出席など、学校との連携をさらに強め、引き続き中学生の読書習慣の形成に努めます。						

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
2	多様な学習機会の確保	2	市民ニーズに対応した学習機会の提供	11	家庭教育支援事業の実施	「子育てママのおしゃべりタイム」の実施館数	28 館	22 館
分析・考察		家庭教育に取り組む人材が不足しており、実施館数に伸び悩んでいます。今後は人材確保等実施体制の強化を図り、実施館数の増加に努めます。						

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
3	学びを生かしたコミュニティづくり	1	地域の担い手となる人材育成	1	団体・グループ活動のリーダーの養成・育成	指導者養成研修 *延受講者数	370 人	347 人
分析・考察		平成 30 年度末実績値において、中間目標に対し 93%の達成率となりました。リーダー養成講座は受講対象者が限定されるため、広報の効果が上がらず、受講者数を増やすことができなかったと思われます。興味を引き、資質向上に必要な内容となる研修となる企画を行い、最終目標の達成に向けて、受講希望者が増えるように取り組みます。						

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
3	学びを生かしたコミュニティづくり	1	地域の担い手となる人材育成	2	ボランティアの育成	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者数	1,850 人	1,743 人
分析・考察		平成 30 年度末実績値において、中間目標に対し、94%の達成率となりました。これは、高齢化や団体の活動停止のための減少があるため、登録者数を増やすことができなかったと思われます。引き続き、合同説明会の開催等を通して、ボランティアセンターの広報活動を行うことにより、最終目標の達成に向けて登録希望者の発掘を推進します。						

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
3	学びを生かしたコミュニティづくり	1	地域の担い手となる人材育成	3	家庭教育支援事業の実施（一部再掲・2事業）	家庭教育支援チーム数	4 チーム	2 チーム
						子育てサポーター数	42 人	35 人
分析・考察		家庭教育に取り組む人材が不足しており、家庭教育支援チーム数、子育てサポーター数が伸び悩んでいます。今後は、人材確保等実施体制の強化を図ります。						

(エ) 休止となった主な事業（進捗状況が休止のもの）

【生涯学習振興課】

施策展開の方向性		施策		事業名		取組項目	中間目標	H30 末実績
1	学習活動のきっかけの提供	2	学習環境の整備	6	中央図書館・生涯学習センター等の改修	南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館受水槽更新工事	実施設計、工事	—
分析・考察		南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館の受水槽更新工事については、緊急性が低いとの判断から、改修の実施が先送りとなりました。						

【文化財課】

施策展開 の方向性		施策		事業名		取組項目	最終目標	H30 末実績
2	多様な学 習機会 の確保	1	郷土への愛 着を深める 学習機会 の提供	2	文化財の保 存・活用の 推進	旧検見川無線送 信所の修繕	屋上防水及 び外壁補修 工事	—
分析・考察		旧検見川無線送信所の外壁補修工事については、平成 28 年度に実施した屋上防水 工事以後、雨漏り被害が発生していないため、当面の間は劣化状況を注視しつつ、 適切な修繕方法を検討するよう事業を見直しました。						

ウ 考察

成果指標について、中間目標に達していない項目が全体の 70%を占めており、大きな課題があると言えます。中でも、学習活動のきっかけの提供については4項目とも×となっており、生涯学習の意義に対する理解度や、生涯学習施設の認知度に課題があるといえます。

一方で、多様な学習機会の提供については達成度が高く、生涯学習施設における事業の取り組みが順調であることが分かります。

ただし、学びを生かしたコミュニティづくりについては、3項目中2項目で未達成となっており、学習成果の地域への還元がまだまだ進んでいないことが浮き彫りとなりました。

これらの課題に対しては、さらなる情報提供の充実に加え、新たな広報手段について検討を行う必要があるほか、学習成果の還元については、専門的な人材の育成や地域連携の強化を進めていく必要があるでしょう。

次に、アクションプランについては、約 70%の項目で順調または達成となっています。引き続き、各プランの実施に取り組みながら、遅れの出ているものについては原因を分析し、達成に向けた取り組みを行っていく必要があるでしょう。